

令和7年度 教育実践助成事業 実施要綱

事業名	教育実践論文募集事業
主 催	岐阜大学教育学部同窓会
後 援	岐阜県教育委員会, 岐阜県小中学校長会, 岐阜大学教育学部
目 的	岐阜県における義務教育の振興・充実のため、日々行っている教育実践の報告の場として、論文の募集を行う。
内 容	小・中・義務教育学校の教育現場に密着した継続的・累積的な教育実践論文の募集を行い、優れた教育実践を顕彰するとともに、入賞論文集を刊行し、良質な教育実践を広く周知する。

論文募集要項

- 1 応募資格 岐阜県内の公立小・中学校, 義務教育学校に勤務する管理職・教職員
- 2 応募方法 実践論文は関係の市町村教育委員会を通して提出する。なお、岐阜大学教育学部附属小中学校については、岐阜教育事務所を通して提出する。
- 3 執筆要領
 - ① 論文の書き方
 - ・文字は常用漢字。現代かなづかいを使用する。
 - ・学校教育の課題をふまえ、願い・問い（仮説）→実践→検証（分析・解釈）→改善（今後の方向）という取り組みの過程をふまえて記述する。
 - ② 原稿の印刷
モノクロ印刷で提出する。印刷原稿は白黒になることから、特に図や表は十分視認できるようにコントラストに留意する。
 - ③ 本文の様式（詳細は別紙レイアウト参照）
 - ・文章の作成はワードを使用し、フォントサイズは10.5・MS明朝（見出しはMSゴシック）。A4判6ページ（22字程度×43行～50行×2段 横書き）余白：上下左右各25mm程度
 - ・1ページ目の冒頭に研究主題・（副主題）・所属・職名・氏名を記載する（46文字程度×5行以内×1段）。上下に二重罫線を引く。
 - ・1ページ目に「概要」（46字程度×10行）を記載する。（入賞者についてはこの「概要」をそのまま論文集に掲載する）
 - ④ 図・表・写真の使用について
 - ・図とは、絵・写真・グラフを用いたりした不定形のものを指す。
 - ・表とは、文字・数字・記号・縦横の罫線だけで構成されるものを指す。
 - ・図と表は、内容が読み取れる程度の縮小に留める。
 - ・図と表は必ず区別し、図1・表1からそれぞれで通し番号を論文全体にわたってつける。
 - ・図と表には、それぞれの通し番号と共に内容を簡潔に表現した見出しをつける。
 - ・図や表を挿入する際は、必ず本文内で言及し、図や表だけが突然示されることのないようにする。
 - ・引用であれば、必ず図や表の下部に出典を明示する。
 - ⑤ 添付資料
 - ・本編以外の資料は添付しない。
 - ・ただし、本編中に実践の取り組み内容（教材として独自に作成したものに限る）として、作成したQRコードを挿入することは認める。
 - ・なお、QRコードにより示される内容は審査の対象としない。
 - ⑥ 参考文献等
参考文献等がある場合は、論文の最後に年代順で一括掲載する。
 - ⑦ その他
写真等は児童生徒が特定されないよう留意する。

【備考】様式は岐阜大学教育学部同窓会HPダウンロード可能

4 論文提出期限 令和8年1月9日(金) 各市町村教育委員会宛

審 査 論文審査委員会において審査する。審査委員は次の機関の関係者に委嘱する。

- ・岐阜県教育委員会 ・岐阜県市町村教育委員会 ・岐阜県小中学校長会
- ・岐阜県小学校長会 ・岐阜県中学校長会 ・岐阜大学教育学部
- ・岐阜大学教育学部同窓会

選考の観点

観点1	教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
観点2	願う児童生徒の姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
観点3	児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。
観点4	実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。

【備考】観点2及び観点3の「児童生徒」をそれぞれ「教職員」と置き換えることができる。

顕 彰

- (1) 応募論文の中から優秀・優良な論文を選定し、「優秀賞」「優良賞」として顕彰する。
最も優秀な論文を選定し、「最優秀賞」として顕彰する。
- (2) 新採6年以内教職員の論文を対象に実践奨励として、「新人賞」を選定し顕彰する。
- (3) 管理職（校長・副校長・教頭）の学校改善・組織改善等に取り組んだ応募論文の中から優秀な論文を選定し、「特別賞」として顕彰する。
最も優秀な論文を選定し、「最優秀特別賞」として顕彰する。【新規】

論文の公開

- (1) 入賞論文を、「教育実践 入賞論文集 第41集」として刊行し、岐阜県内の小中学校及び教育関係機関に配布する。
- (2) 岐阜大学教育学部同窓会HPに「第41回教育実践論文入賞者一覧」を公開する。
- (3) 論文入賞者に「教育実践 入賞論文集 第41集」を贈呈する。